

拠出金名： メコン河委員会拠出金

国際機関等名	メコン河委員会 (略称) MRC					
種 別	国連本体	国連専門機関	○その他			
所轄官庁担当局課名	外務省アジア大洋州局南東アジア第一課					
最近3年間の我が国支払額及び拠出率、ODA率						
単 位	金 額(注1)				拠出率(%)	ODA率(%)
	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト		
平成15年度	0	0			(2003年)	0
平成14年度	12,200	100		1\$ = 122円	(2002年)	100
平成13年度	48,578	454		1\$ = 107円	(2001年)	100
拠出上位5ヶ国						
	国 名	率(%)		左の率及び順位は 2001年のもの (注2) (注3)		
1位	デンマーク	68.7				
2位	スイス	10.8				
3位	スウェーデン	9.9				
4位	国連開発計画(UNDP)	6.7				
5位	オーストラリア	2.3				
当該機関に対する我が国としての評価(当該国際機関の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)						
<p>・メコン地域開発に関する常設の事務局を持つ唯一の国際機関として、関係国・機関間の調整、協調の場としての役割の大。</p> <p>・地域の持続的開発の基盤となる環境及び水資源管理を扱う機関として果たす役割大。</p> <p>・ドナー協議会や非公式ドナー会合を通じ、我が国を含む各ドナーの意見を計画に反映させるとともに、地域開発における関係機関との効果的協力に取り組むなど、プロジェクト実施・調整機能を高める努力を評価。</p>						
<p>合理化、機能強化のための改革が行われているか。</p> <p>行われている場合はその現状と我が国としての評価</p> <p>・メコン河委員会に求められる業務が増大する中、ブノンペン(カンボジア)からビエンチャン(ラオス)への事務局移転が2004年6月に行われたが、右はドナー側との協議を踏まえ作成された移転計画に基づき合理的に実施された。また、昨年末に策定された「MRC Work Program2004」によれば、地域開発における関係機関との効果的協力を戦略目標の一つに挙げ、右を実現するためにメコン河委員会及び加盟国のキャパシティー・ビルディングを目的とするプログラムを実施しているところ、今後事業の合理化及び機能強化が期待される。</p>						
邦人職員数	3人	当該機関の職員数及び		110人		
うち幹部以上	うち 0人	邦人職員が職員全体にしめる率		2.7%		
邦人職員が占めている幹部ポスト						
ポストの名称(ランク)		職 員 氏 名	備 考			
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画						

(注1) 外務省拠出分のみ。我が国からの拠出額(うち農林水産省拠出額)は次の通り。

平成15年度: 269千ドル(269千ドル)、平成14年度: 418千ドル(318千ドル)、平成13年度: 825千ドル(371千ドル)

(注2) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年(2001年~2003年)

(注3) 平成13年度我が国拠出金は2002年3月に振り込まれたため、2001年度MRC会計資料には計上されていない。